



長等山の麓にある法明院の石段(写真左)。国宝の新羅善神堂。現在の建物は足利尊氏の寄進(同右上)。土を盛り上げた新羅三郎義光の墓(同右下)。

多くの観光客が訪れる三井寺(長等山園城寺)の中心伽藍から北に数百メートルほど離れた場所に新羅善神堂がある。三井寺の鎮守神である新羅明神を祀っている。

新羅明神は蕃神(異国の神様)である。三井寺を再興し、天台寺門宗の開祖となる智証大師円珍が、仏法を求めて唐に留学した際、新羅明神が目の前に現れ、大師の仏法を守護することを誓う。大師が持ち帰った経典類を安置する場所として三井寺を勧めたのも新羅明神のお告げだという。

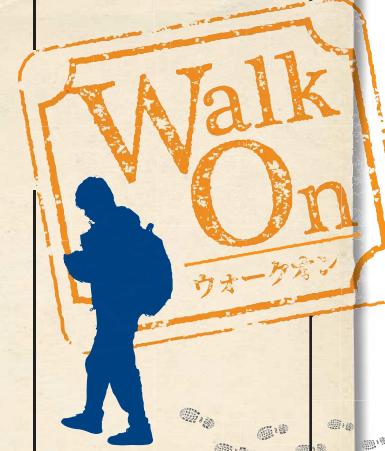
かつては新羅善神堂を中心多くの堂塔・僧房が建ち並んでいたようだが、現在は官庁や学校、公園などに囲まれて、ひそりと鎮座している。



モデルコース
京阪皇子山駅 15分 → 新羅善神堂 10分 → 法明院 8分
新羅三郎義光の墓 10分 → 大津市歴史博物館 6分
三井寺・仁王門 10分 → 京阪三井寺駅
※移動時間はあくまでも目安です(休憩時間等含まず)。
※JR大津京駅を起点にする場合、新羅善神堂までは徒歩約17分。

バックナンバーをKEIBUNホームページ
「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!
<http://www.keibun.co.jp>

※「八幡太郎」と呼ばれた源義家は石清水八幡宮(京都府八幡市)で元服した。



長等山

なが

ら

や

ま

DATA 大津市

- 歩行距離 約3.2km
- 歩行時間 約60分

新羅明神は三井寺、源氏一門の守護神!?

多くの観光客が訪れる三井寺(長等山園城寺)の中心伽藍から北に数百メートルほど離れた場所に新羅善神堂がある。三井寺の鎮守神である新羅明神を祀っている。

新羅明神は源氏一門の守護神でもある。源頼朝や足利尊氏の祖先である河内源氏の嫡流「八幡太郎」義家の弟・義光は、この新羅善神堂の神前で元服したことから「新羅三郎」と呼ばれた。長等山の山中には今でも新羅三郎義光の墓が残されている。

までは東海自然歩道や大津市の「自然の道・歴史の道」が通っている。このルートを歩けば新羅善神堂から法明院、新羅三郎義光の墓、大津市歴史博物館までたどることができる。散策後は、三井寺の境内をゆっくりと拝観するのもいいだろう。

“Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょう。



フェノロサの墓



6